



特集新春座談会 . . . . . 2 ~ 5 ページ  
12 月定例会開催（補正予算他） . 6 ~ 8 ページ  
一般質問（5 人） . . . . . 9 ~ 13 ページ  
委員会報告 . . . . . 14 ~ 15 ページ

# おぢか 議会だより

第 78 号 2012. 1. 7

発行 小値賀町議会 広報常任委員会  
電話 0959-56-3111



# 平成24年新春座談会 議員今年の抱負を語る



あけましておめでとございませう。  
新しい年が皆様にとつて幸多き年となりますよう議員一同お祈り申し上げます。  
地方分権の流れが本格化し、世界的競争の時代の中で、自治体の有りようも大きく変わろうと  
しています。  
小値賀町議会も時代に即応した議会の有るべき姿について研究し実践しているところです。  
新しい年を迎えるにあたり今後の町の課題や取り組みについて語りあいました。



**立石議長**  
昨年はいろいろなこと  
があり、大変な年でした。  
新しい年を迎えるにあ  
たり、各議員の新年の抱  
負、取り組みたいことな  
どについて伺いたいと思  
います。



**伊藤副議長**  
あけましておめでとご  
ざいませう。  
議会、議員の基本に立  
ち帰り、行財政のチェツ  
ク機能、批判と監視とい  
う議会本来の役割を高め  
ることに力点を置いて今  
年一年、取り組みたいと  
考えています。

**岩坪議員**  
今年こそは町民が希望  
を持てる小値賀を目指し  
ていきたいと思っています。  
(株)小値賀町という  
認識で町全体の活性化に  
取り組みたいと考えてお  
ります。  
**浦議員**  
提言だけに終わるので  
はなく、課題解決のため



成果を上げる形まで持つ  
ていくような活動をした  
いと考えています。  
今年、問題解決のため  
なら、遠方へも足を運  
び、先進事例や研究につ  
いて情報を収集し、自ら  
も実践するなど、より具  
体化を目指した活動を行  
いたいと思います。  
現在の関心は特に「藻  
場の再生」です。

**小辻議員**

昨年は、「藻場の再生」と「交流人口の増大」のために町外に積極的に出かけて情報収集や働きかけをしてきました。  
本年も基本的には、昨年と同じ心構えで行きたいと考えております。



産業の振興、福祉、教育などを総合的に解決するべく、骨身をおします。小値賀の活性化のために大いに活動したいと考えています。

ねばと思います。やる気が継続できるような環境作りに入りたいと考えております。

**土川議員**

今年5年に一度開催される第10回全国和牛能力共進会が長崎県で催されます。小値賀もこれを機に畜産業の振興に一層力を注がなければなりません。

新しい展開を図るためにも、仲間づくりやチームをつくって事に当たる仕組みづくりをしていか

**末永議員**  
何といたっても第一次産業です。その復活を図るべく全力を傾けたいと思  
います。  
今問題になっている磯  
焼け対策について特別委  
員会の設置も視野に入  
れ、目に見える成果を上  
げる政策を打ち出せるよ  
う頑張っていきたいと考  
えています。

**宮崎議員**  
当初より取り組んでいる小値賀の自然環境保護条例の必要性とその内容について、本年はさらに研究を進め、町民の皆さんにも情報を提供し、ご理解をいただき、ご意見を伺いながら制定に向けて歩を進めていきたいと考えています。  
課題を先取りして、其の対策を事前に講じることとは、私たち議員にとつて大事な役割です。  
世界遺産のこと、重要な文化的景観のことなど、数少ないチャンスを生かした本町の活性化につなげる努力をしたいと思  
います。



**松屋議員**  
昨年は総てが勉強でした。本年は産業の活性化を図るべく研鑽を積んで実現に努力したいと思  
います。  
民間企業経営という経験を生かして、六次産業という観点からの活性化策を考えていきたいと思  
っています。とにかく一  
生懸命頑張ります。



**近藤議員**

議員生活も2年目に入りますので、若葉マークを返上して、より一層住民の声を聞き、町政に反映させるべく努力したいと思  
います。  
個人的には議員としての足場を固め、心機充実

**近藤議員**

「変」ですね。日本全体にとつても個人としても変化の年でした。

**末永議員**

「志」ですね。前回より議会の雰囲気が変わっており、議員活動が和気あいあいと出来た一年でした。

**岩坪議員**

「誠」ですね。自分の



信念でもありますが、監査委員の勉強で精いっぱい的一年でした。誠意をもって職責を果たしてきたと自負しています。

**立石議長**

小値賀の課題と議会としての取組については？

**浦議員**  
第一次産業の生産性を高めるのが基本ですが、それ以外に付加価値を高めること、販売など松屋議員の言う6次産業化を目指してブランド化、活性化を図らなければならぬと思います。

先ほども申し上げましたが喫緊の課題は藻場の再生です。

**立石議長**

磯焼けの問題は昨年引き続き議会としても重点課題として取り上げていきたいと思っています。第一次産業については現在の厳しい環境に加えて、これからTPPの問題が



ばと思っています。  
**土川議員**  
TPPの問題は、黒船来航みたいに今までの第一次産業を大きく様変わりさせるほどインパクトの大きいものになりそうです。

出てくる可能性が高い。それを考えると小値賀の農業漁業は大きな転換が必要ではないでしょうか。

**伊藤副議長**

米の問題も例外ではないとの報道をみて、農業にとって厳しいことになりそうなので、心配しています。農業委員会でもこのままでは駄目になると危機感を持って農地の集積をも視野に入れた取り組みを考えているようです。水産物も一緒ですが、就業者の高齢化など不安材料が多く、土川議員が抱負のところで言ったようにチーム作りなどの方法も検討し、新たな展開を図っていかなくては

宮崎議員  
小値賀は今までも、時代の変革に応じて、その形を変えながら第一次産業は進行してきた歴史を持っています。たとえT

生き残っていくためには、今までの農業とは違う形が必要になり、農地の集積を図るなら個人では無理なので、先ほども申し上げましたがチームで作業していく等、あらゆる工夫をしなければならぬと思います。

そうでなければ後継者は益々無くなっていくことになりそうです。小値賀の島を絶やしたくないから、生き残りの道をなんとか模索したいですね。

**宮崎議員**

小値賀は今までも、時代の変革に応じて、その形を変えながら第一次産業は進行してきた歴史を持っています。たとえT

す。

**松屋議員**

民意を如何に吸い上げるかが大事です。町民との対話の場を設けていくべきではないでしょうか。

**近藤議員**

議会全体としては活性化しているなどという感じを持つています。年に2回ぐらい夜間議会も開催しては如何ですか？また、常任委員会の傍聴をしやすいうちに会議室の広さなどの工夫をすべきだと思います。

**立石議長**

みなさんの意欲を強く感じました。ご提案は出来るだけ実施に向けて協議を進めてまいりたいと思います。町民の代表者という議会本来の役割を果たすため、さらなる研鑽を積み活力ある議会を目指して今年も頑張ることを一同決意し座談会を終わります。



**立石議長**  
次に、議会の活性化についての考えを伺いま

注…活発な意見が出ましたが、紙面の都合上、抜粋し掲載させていただきました。

PPによる危機が来てもそれを乗り越える力を小値賀は持っていると感じています。  
例えば農業の法人化などの再編が必要かもしれないけれど、知恵を出して魅力を出す農業にする可能性は高いと思います。

**小辻議員**

漁業の担い手を育成する観点からのアプローチも重要だと思います。具体的な取組の一つとしてスキューバダイビングの導入を考える事を提案します。これは観光という観点から前面に出ますが、そうではなく漁業者



を育てるという側面にウエイトを置いて推進するよう位置づけると、新たな漁業の担い手も出てくる可能性が生まれると思います。  
漁業に利するようなルール作りをしていくべきだと考えます。

**末永議員**

私も同様の考えです。漁業者が年を取ってから出来る仕事としてはスキューバダイビング関係も可能性が高いと思っています。しかし、話の持って行き方は段階を踏むなど、十分に準備が必要だと思っています。漁師サイドからのルール作りなどは絶対必要です。漁師の高齢化が進んでも仕事が出来ない道を探ることは重要課題です。

**浦議員**

スキューバダイビングの件は、産業建設常任委員会でも検討項目の中に入れて現在進めています。

す。

**小辻議員**

これからの議員は課題の解決のためにこれが必要だと思えば、自らが研究し周りを説得し、仲間を集めてみんなで作りに上げていくという姿勢が必要だと思っています。口だけで終わってはダメで、具体的に動けという時代にかけています。

**松屋議員**

第一次産業単独では、

**工事請負契約の変更について**

小値賀小学校校舎解体工事に関して、**破碎コンクリート**の一部を新校舎から中学校グラウンドへの連絡通路の下部工事に流用することで処理費用が減額になったため請負契約の変更を行うものです。ため池などへの環境的影響は大丈夫かとの質疑がありましたが、影響はほとんど無しとの答弁があり、原案のとおり可決しました。493万2900円を減額し工事請負契約を6121万7100円に変更。

**工事請負契約の締結について**

小値賀小中学校校舎建設に関して、外構工事を除く、**建築、電気、機械設備**工事で8億2247万8650円で「上滝・みなと建設特定建設工事共同企業体」と契約を締結するものです。工期は平成24年12月3日までを予定。安全対策や完成後の引越しに関する質疑がなされましたが、業者との会議の中で安全対策は徹底すること、引越しに関しても学校との事前の協議もなされているとの答弁があり、原案のとおり可決しました。

**職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**

人事院勧告を受けて、本町職員の給与を月額0、23%減額するものです。今年度の減額分の総額についての質疑があり、今年度分は39万771円になるとの答弁で、原案のとおり可決しました。

**国民健康保険診療所医師の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例**

診療所医師に関しても同じく給与を月額0、23%減額するものです。原案のとおり可決しました。

**11月21日に第4回臨時議会開かれる！**

# 平成23年第4回定例会開催

## 副町長選任の同意、課の設置条例改正案、補正予算案などを審議

### 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ89万3,000円を追加し、予算総額をそれぞれ4,011万6,000円に。  
(去年同期比約78万円の増額)

《主な歳入》		《主な歳出》	
繰越金	73万3,000円増額	健康診査費	16万円増額
受託事業収入	16万円増額	一般会計繰出金	71万4,000円増額

### 簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ7万7,000円を追加し、予算総額をそれぞれ9,132万7,000円に。  
(去年同期比約719万円の増額)

《主な歳入》		《主な歳出》	
一般会計繰入金	144万1,000円減額	一般管理費	7万7,000円増額
繰越金	151万8,000円増額		

### 下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ95万3,000円を追加し、予算総額をそれぞれ1億8,245万3,000円に。  
(去年同期比約1,099万円の減額)

《主な歳入》		《主な歳出》	
一般会計繰入金	19万7,000円減額	修繕料	50万円増額
繰越金	151万円増額	消費税	49万5,000円増額

主な質疑：【問】修繕料が上がっているが何処の分か？  
【答】斑地区の本管に巻いている保護網の補修です。

### 渡船事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ20万円を減額し、予算総額をそれぞれ5,772万7,000円に。  
(去年同期比約200万円の増額)

《主な歳入》		《主な歳出》	
国庫補助金	57万円減額	はまゆう運航費	49万3,000円増額
県補助金	37万円増額	さいかい運航費	68万円減額

主な質疑：【問】修繕料が減額になった理由は？  
【答】さいかいのエアコン改修で、当初よりも小型の機器に変更したためです。

### 国民健康保険診療所特別会計（補正第2号）

歳入歳出それぞれ1,900万円を減額し、歳入歳出の予算総額をそれぞれ4億1,470万円に。  
(前年同期比約3,153万円の減額)

《主な歳入》		《主な歳出》	
診療入院収入	600万円減額	総務管理費	300万9,000円減額
診療外来収入	2,000万円減額	医薬品衛生材料費	1,600万円減額

12月13日から16日まで4日間の会期で12月定例会が開催されました。  
一般質問は5人の議員が登壇し（9～13頁）、本町の諸問題を質しました。  
議案は条例改正案1件、補正予算6件、副町長選任の同意と教育委員任命の同意でした（6～8頁）。また、小値賀町選挙管理委員及び補充員の選挙を行いました。  
この中で、「課の設置に関する条例の一部を改正する条例案」については、総務文教厚生常任委員会に付託し、継続審査（調査）となりました（8頁）。他の案件は原案のとおり可決しました。



### 一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ1億3,707万2,000円を追加し、予算総額が29億9,380万3,000円になりました。  
(前年同期比約4億2,760万円の増額)

《主な歳入補正》			《主な歳出補正》		
地方交付税	4,996万9,000円	増額	総務費	1億1,575万9,000円	増額
国庫支出金	475万5,000円	減額	衛生費	703万5,000円	増額
県支出金	360万3,000円	減額	農林水産業費	385万5,000円	増額
繰入金	181万4,000円	増額	商工費	113万9,000円	減額
町債	9,029万3,000円	増額	土木費	897万9,000円	増額
			消防費	62万4,000円	増額
			教育費	174万1,000円	増額

問 エレベーターの設置、玄関シャッターの改修、空調設備の改修、玄関天井の修繕、議場録音設備の改修、内装の壁紙補修、庁舎内照明設備の取替えが主なものです。

答 町民がよく利用する課は一階に持つてくるべき。エレベーターの設置は町民の意見を良く聞いて慎重に検討して貰いたい。

問 エレベーターについては2階までではなく3階までなので、議会の傍聴等、町民の利用が期待できると考えています。

問 役場庁舎整備基金に今回5,000万円計上され積立合計が1億2,700万円となるが、庁舎改修の主な内容は？

答 エレベーターの設置、玄関シャッターの改修、空調設備の改修、玄関天井の修繕、議場録音設備の改修、内装の壁紙補修、庁舎内照明設備の取替えが主なものです。

# いっぱんしつまん 一般質問

## 課の設置に関する条例案は継続審査に!

現在の5課体制を4課に統合し、財政課の業務のほとんどを総務課に集約するとして「財政課」を削る改正案が示されました。

しかし、班体制や担当範囲、窓口の問題など、課を減らした後の青写真が出来ていない段階では判断が難しいとして、総務文教厚生常任委員会に付託し、継続審査(調査)とすることになりました。

閉会中に、全体像が示されたうえで、町民サービス向上の観点から審議し、委員会としての報告をまとめることになりました。



□小値賀町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

選挙管理委員は議会で選挙により決めることになっていきます。この度、任期が切れますので、選挙を実施、次の方が再任されました。

選挙管理委員	補充員
田中比古右 氏	山田 泰弘 氏
吉野 喜昭 氏	前田 利秋 氏
貞方 忠義 氏	原田 信幸 氏
浦 俊一郎 氏	濱田 博幸 氏

任期は平成23年12月21日から平成27年12月20日の4年間です。よろしくお願ひします。

## 観光拠点の整備・修復はオフシーズンに



近藤育雄議員

本町においては、観光客も年々増加の傾向にあるが、観光拠点には、整備や修復を必要とする箇所が随所にある。

オフシーズンの今こそ、整備修復の時だと考える。五両ダキの駐車場整備とその接続道路整備についての考えは?

【答】西町長  
整備については、多額の事業費が必要なので、県の事業に入れて整備する計画ですが、平成27年度からの事業実施計画となっており、県へ計画の前倒しを要望したいと思ひます。財政も考えながら、早期整備の道を

一すぐに対応できるものと時間が必要なものと分けて検討する

【問】近藤議員  
野崎港から学塾村への道路については、度々緊急避難的補修が行われてきたが、安全のためにも本格的な道路整備が必要だと考える。町長の考えを伺いたい。

【答】西町長  
世界遺産関連や重要な化的景観指定などで、今後さらに観光客の増加が考えられ安全性の確保を図ることは重要な責務と考えております。整備には巨額の費用が必要となるため、文化庁

【問】近藤議員  
や国立公園関係機関とも協議しながら、慎重に検討してまいりたいと思ひしております。



【問】近藤議員  
町営船「はまゆう」の座席シートが激しく傷んでいる。早急に補修する必要があると思ひますが、町長の考えは?

【答】西町長  
第3はまゆうは建造されてから16年余りになりますが、一度も椅子の補修はなされていないようです。

【問】近藤議員  
本格的には時間がかかりますので、簡易な形での補修を実施できないか検討します。

【答】西町長  
水はけ問題に関しては景観的な面もあり、あまり手を加えない形での対応を考えたいと思ひます。水道については、問題点もありますが、トイレなどにも関係しますの

【問】近藤議員  
西番岳にある「藤浦洗歌碑」が文字が読めないほど荒れている。整備するつもりはないか。

【答】西町長  
現在担当課で修復費用の見積もりをしており、近日中に対応したいと思ひます。

【問】近藤議員  
観光案内板の整備について町長の考えは?

【答】西町長  
教育委員会と観光部局との連携が必要です。看板の乱立となれば、景観上も問題です。観光客に対する案内の方法など関係者との協議を行い、慎重に検討してまいります。

【問】近藤議員  
分かりやすい道路標識の整備も必要だと思ひますが、町長の考えは?

【答】西町長  
これについても景観の問題もありますので、管理者等との協議をして検討してまいります。



柳の道路標識

◎副町長選任の同意について  
空席になっていた副町長に谷良一氏を選任したい旨の申し出があり、議会はこれに全会一致で同意しました。任期は4年です。

谷 良一氏  
責任の重さに身の引き締まる思いであります。今後とも町民皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

(副町長は、町長の命を受け政策及び企画、職員の事務を監督し、町長の職務を代理する重要な職務です。)

◎教育委員会委員任命の同意について  
定数一名が不足していた教育委員に中村好秀氏を任命したい旨の申し出があり、議会はこれに全会一致で同意しました。

中村好秀氏  
まだ父親になりたての私ですが、小値賀の子どものために頑張ります。よろしくお願ひします。

任期は前任者の残任期間の平成25年9月30日までです。

郵政改革法案の早期成立を求める意見書  
これまでの郵便局は、地域社会において、情報・安心・交流の拠点としての役割を担っていました。  
平成19年10月、郵政民営化法に基づき、郵政3事業は民営・分社化されましたが、地域住民から不満の声が多く、不安を解消するため平成22年4月の通常国会に郵政改革法案が提出されました。しかし、未だ成立しておらず、一刻も早く成立するよう国に要望しました。

離島振興法の改正、延長を求める意見書  
離島振興法制定以後、全国の離島において振興事業が積極的に進められました。  
その事により離島の生活条件、産業基盤も着実に整備されてきましたが高齢化の進行は依然として進み、割高な流通・生活コスト、航路及び航空路の廃止・減便、医療従事者等の不足に離島自治体が自主・自立性を発揮できるよう離島振興法の延長と離島振興対策の見直しを国に強く要望しました。

これを提案!

ここが聞きたい!

町民と共に創るまちづくりとは?



末永一朗議員

「基本は人づくり、対等なパートナーシップを築いていく」



ませんが、小さい町というスケールメリットを生かした町運営をしていくということですが。

【答】西町長 今回提案している課の統合なども以前に提言されているものです。課題が出てくれば行政改革推進委員会の開催も考えたいと思います。

【問】末永議員 行政改革推進委員会等の活用についてはどう考えるか。

西町長は、選挙の時の公約で「町民が一体となり、町民と共に作る活力あるまちづくり」を掲げていたが、どのように推進していくのか伺う。また、同様に「知恵と工夫で小値賀の活性化」とうたっているが、具体的にはどのような政策なのか。

なく、町民の皆様と一緒に、文字通り協働で、医療、福祉、教育の充実はもちろん、基幹産業の振興を図ると共に、行政改革、情報公開を進め、公平公正で計画性のあるまちづくりをしてまいりたいと考えております。基本は「人づくり」だと考えます。まずは、役場職員のやる気を引き出すために4月1日より課の統合等の機構改革に着手しようと考えており、簡素で分かりやすい行政システムにしたいと考えております。その上で、各種団体との話し合いはもちろんのこと、町民、事業所、行政の三者が共通の認識の

もとそれぞれの特性を活かして対等なパートナーシップを築いて進めていきたいと思えます。具体的な施策の実施については、24年度予算編成に当たり、事業の重要性、緊急性、投資効果などを踏まえて、優先順位を定め、計画的な執行を図るとともに財源の有効的な配分につとめ、健全な財政運営を図ってまいります。 【問】末永議員 「自分たちの町は自分たちで」という協働の意識を高める施策は?

【答】西町長 従来型の行政主導では

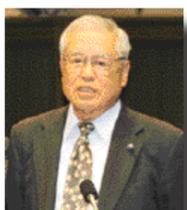
政の三者が共通の認識の

【答】西町長 特別なものは持っていない



11月20日開催された産業まつり

本町における六次産業振興策を!



松屋治郎議員

「補助制度の充実も検討。共同加工場の公設民営化も研究」



【答】西町長 個人が加工・販売まで行う場合は、各種の資格設備が必要となり、さらに販売する場合は、いろいろな規制に注意が必要です。やる気がある人や団体があれば、補助制度等の充実を図って、町としての支援をしたいと思っております。

用策ですが、対象農地の情報を、規模拡大を目指している人に対し、幅広くお知らせする事で、その土地にあった利用が出来るものと考えています。

小値賀町は50年間で人口増減率は県平均53%を大幅に超え、72%である。

人口減少は歯止めがかからない。過疎化の要因をどのように捉えているか伺う。

【答】西町長 国の経済政策により、団塊の世代が進学・就職期に、島外へ流失した事、減反政策の開始と前後して農業就業基盤が劣化したこと等が要因と考えます。

また、交通手段の減少や輸送手段として航路問題も大きく影響しており、この航路問題を早急に解決する必要があると考えています。

【問】松屋議員 耕作放棄地には必然的な理由があると思われるが、その土地に合った利活用策はないのか伺う。

【答】西町長 地産地消や特産物の生産・販売の拡大による雇用の増加の観点から、加工施設の環境整備を図り、また、個人起業家への就業資金貸付等を含めた小値賀町独自の助成も考えられます。これらの事業展開の拠点として、担い手公社の再編成も、今後の重要な課題と考えています。



魚市場の水揚げ風景

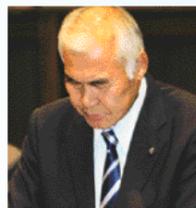
【問】松屋議員 思い切った産業振興策を講じ、若者が安定した収入が得られるようにする事が急務である。本町に於ける六次産業振興という考え方についてどのように思うか。

【答】西町長 耕作がされなくなった理由としては人為的なもの、地理的なもの、土質形状など、色々な理由が挙げられます。その土地にあった利活用策はないのか伺う。

これを提案!

ここが聞きたい!

決算審査の結果を新年度の予算編成にどう活かす?



伊藤忠之議員

―考慮しながら予算編成―

徴収対策も考慮―



おり、考慮してまいりま  
す。  
【問】伊藤議員  
イノシシ対策について  
新年度はどのように考え  
ているのか伺う。

ております。  
また、栄養塩の試験投  
入も計画し、養殖母藻の  
投入等、総合的に実施す  
る予定です

【問】伊藤議員

きめ細やかな臨時交付  
金事業・住民に光をそそ  
ぐ臨時交付金事業におい  
て、15件の整備等の事業  
があるが、繰越事業の進  
捗状況について伺う。

【答】西町長

きめ細やかな交付金事  
業については、11事業の  
うち8事業がほぼ完了し  
ており、残り3事業は診  
療所前バス停留所関連道  
路整備工事・アヴィ館外  
壁改修工事・歴史民俗資  
料館補修工事となってお  
り、進捗率は80%を超え  
ております。  
光をそそぐ交付金事業  
は、3事業とも順調に進  
捗しております。

平成22年度の決算審査  
においての結果を受け  
て、次年度以降の予算編  
成に活かすよう努力すべ  
きであるが、その取り組  
みについて伺う。  
町税は歳入における有  
力な財源であるが、収入  
未済額は増加している。  
滞納分の徴収対策は?

【答】西町長

文書による催告、各戸  
訪問、役場における納税  
相談等を行い、納税意識  
を保つよう心がけてまい  
ります。

【問】伊藤議員

決算審査の折、答弁し  
ていたが、新年度に防災



補修工事が繰り越事業となった歴史民俗資料館

会議に関する予算措置は  
考えているのか伺う。

【答】西町長

本町の防災計画におい

ても、県の防災計画と整  
合性を保つために、今後  
放射能対策を含めた防災  
計画の見直しの必要があ  
るのではないかと考えて

【問】伊藤議員  
磯焼け対策についての  
取り組みについては?

【答】西町長

現在ウニ駆除や母藻投  
入、ウニハードルの設置  
を行なっており、今後も  
ウニ駆除を継続的に実施  
するために新年度はボラ  
ンティアダイバーの募集  
を行い、ポンベを使用す  
る事で効率を上げ、深い  
場所までの駆除を計画し

小値賀港ターミナルの整備は?



土川重佳議員

―利便性を優先するよう善処―



現在設置しているフェ  
リー乗り場の通路シエ  
ルターの長さは10メー  
トル未満のもので、船の乗り

降りするため、なくては  
ならないものですが、タ  
ーミナルから船までの一  
部分しかありません。  
しかも、雨風の強いと  
きは、現在使用している

ものでは、雨に濡れたり、  
傘を差されない状態であ  
る。何とか整備できない  
のか。  
また、手足の不自由な  
人、高齢者のためには、  
バリアフリー化したタラ  
ップの整備が必要だと考  
えるが、町長の考えを伺  
う。



ターミナルの荷物倉庫

協議し、従来の利用方法  
に改善するように善処い  
たします。  
バリアフリー化につい  
ては、船側の問題があり  
ます。これから建造する  
船にはバリアフリー化は  
義務付けられているので  
すが、今の船はそのよう  
な仕様になっていませ  
ん。

【答】西町長

現在考えられる対策と  
しては、倉庫入り口の外  
部と内部に側溝を設置  
し、排水する方法があり  
ますが、詳細については  
現場の状況を調査し、建  
設課で対応させていただきます。



フェリーに乗る際の乗降口

【答】西町長  
風雨時や夏の日差しの  
強い日に、利用者に大変  
不便をおかけしていま  
す。

利用者のお客様の利便  
を最優先すべきでありま  
すが、共運組、野母商船  
の都合で、寄贈された通  
路シエルターが有効利用  
されていないようです  
で、県も含め、関係者と

現在利用されているタ  
ラップの乗降口の段差や  
船の乗降口の幅が狭いこ  
とにより、車椅子使用の  
タラップは今の時点では  
難しいと考えます。

# 常任委員会も課題を掲げ積極的に活動

自ら課題を見つけてその解決に動く議会を目指して委員会活動が活発に行われています

## 産業建設常任委員会報告

委員長 土川重佳

### 藻場の再生をなんとかせんと！

### 産業振興の新しい展開を模索

西海市大島町へ藻場造成の取り組みを視察

加工という観点から新上五島町有川漁協を視察



西海市大島町大崎漁協の磯場再生の取り組みを視察

9月の定例会以降、第一次産業の問題、特に水産業における近年の水揚げ不振について数回の委員会を開催しました。11月18日には、漁協小発動連合会、小値賀漁業集落、役場、漁協職員、議員の計16人で西海大崎漁協の藻場造成事業の取り組みについて、先進地視察研修を行いました。事業については、環境

生態系保全活動支援事業を活用し、ウニ、魚フェンス設置、藻場増殖礁の設置などを実施していること、今後は長崎県総合水産試験場が実施する環境生態系保全活動総合対策事業の受諾を受けて引き続き取り組む方向であることなどが説明されました。事業に対しては、所属する青壮年部が主体と

なっており、「自分たちの海は自分たちが守る」という強い意志を持って進めており、本町との違いを感じました。魅力ある漁業を再生させるためには、第一に昔に返る沿岸漁業が重要だと考えます。それにはなんといたっても、藻場の再生が必要不可欠です。磯焼けの原因についてはいろいろなことが考えられますが、対策には、森・里・海連環など複合的かつ総合的な取り組みが必要であると考えます。委員会としては、後世により良い島環境を残すためにも、今後も調査研究を重ねていきたいと思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

11月17日には、加工の取り組みの可能性を探るため、新上五島町有川漁協直営の水産加工場の視察を行いました。

今回の磯焼け対策や水産加工場の視察を通して感じることは、やはり当事者自らが率先して取り組む姿勢が基本であるということです。皆さんとともに行動を起こすことが大事です。

## 総務文教厚生常任委員会報告

委員長 宮崎良保

### 県内町村の中で初の福祉事務所単独設置へむけて調査活発に

鹿児島県長島町の視察などを実施、福祉事務所設置に関する課題などを検証  
長崎県立大学では、自然環境保全に関するルール作りなどを学ぶ

福祉事務所設置については、町民の立場に立った福祉事務所のあり方や事務所の円滑な運営及び財源等につき調査審議しました。本町としても初めての設置であることから委員会としては先進地視察を始め、県担当者や佐世保市の現状調査などを積極的に行なっております。12月1日に視察した鹿児島県で初の町単独福祉事務所を設置した長島町では、設置に至った経緯、手順、具体的運営の状況について伺いました。運営の財源については県や市では普通交付税の算定の中で交付されることになっていますが、町村では特別交付税での算定となっています。5年経過した試算によると長島町では人件費を除いて

2千万円程度黒字となっているとのことでした。単独設置のメリットについては、今までより早く各種認定の可否の決定が出来る事が上げられます。デメリットとしては職員が専門職ではなく、又、職員の異動があるため専門職の確保が出来にくい点です。町が審査すると町民との間が狭いので審査が甘くないのか心配だったのですが、「担当のケースワーカーの身近な人が対象となった時は職員を交代して、法に照らし合わせて審査を執行するので、今までトラブルは無い」とのことでした。これからの問題として財源が特別交付税では安定しないので、県との間で確約書をお交わした方が

良いとのアドバイスをいただきました。情報収集をする中で本委員会では、福祉事務所の単独設置の利点も確認できましたが反対に問題点も浮き彫りになりました。引き続き小値賀町の福祉の向上のため調査・審査してまいります。自然環境保護条例の設置に関する検討について10月20日野崎島へ現状確認のため視察。さらに、実際に観光業務に携わっている小値賀IT協会の代表者及び重文文化の景観や考古学の観点から教育委員会の関係職員を招致し、条例制定に関する意見を聴くなど数回にわたり委員会を開き調査を進めていまして、11月30日には長崎県立

大学を訪問。吉居秀樹教授と山田千香子教授に自然環境保護制度に関する視点や手順、法令についてお話を伺い、意見の交換を行いました。小値賀町は環境保護条例を作る条件は整っているため関連した条例を一本化する方向でルール作

りをした方がよいとの示唆を受けましたので検討したいと思っております。また、理念や目的などを明確にするなど議員同士で十分な議論が必要だとの指摘もあり、今後にもさらに調査を進め、提言をして参りたいと思っております。



鹿児島県長島町での福祉事務所設置に関する調査

# 藻場再生の情報収集のため議員を派遣!

## 大分県日田市中津江村での植樹祭に参加

### 森里海連環学の活用で磯の復活を!

#### 専門家との意見交換



日田市中津江村の森づくり事業風景

11月23日に、大分県日田市中津江村で開催された植樹祭に浦議員、松屋議員と共に参加しました。

磯焼け状態である小値賀町にとって何をしなければならぬか、暗中模索の中で、専門家が中津江村に来るとのことでしたので、急遽、議員派遣として参加しました。

「二〇〇海里の森づくり」のタイトルで行われた植樹祭の意味を考えながらの植林活動でした。

「森里海連環学」の提唱者である田中教授との懇談会では、「磯焼けの要因は多くの生物的要因や環境的要因等複雑な原因が入り混じっているので、単一の技術では解決できない。間に合わせ的な対症療法があるにせよ、中長期的な観点で小値賀の自然の環境を復活する政策が大事だ」との示唆をいただきました。

小値賀の将来に宝を残すという観点からの総合的な取り組みの必要性を感じました。

小辻隆治郎

#### 議員派遣とは?

平成14年の地方自治法の改正で、議会は必要があると認めるときは、議会の議決等により、議案の審査や重要な事務に関する調査等のために議員を派遣することができることとなりました。

役場職員の自発的な取り組みで、休日を利用してボランティアで行われる年末恒例の公的施設の大掃除風景です。職員のみなさん、ご苦労様です。



#### 編集後記

とにかく早い1年。振り返ってみれば3月11日の東日本大震災、8月9日に発生した台風12号15号による土砂ダムが出来、土石流の恐れが生じた近畿地方、まさに大自然の恐ろしさを知らされました。

また、12月17日は、北朝鮮の金正日氏の死去が報じられました。

世界中がパニック寸前の状態です。なんと大変な1年であったことか。

いよいよ今年最後の議会だよりの編集となりました。数年前までは手書きの原稿でしたが、今は、パソコンですいですいと正確に進みます。時代の変化のなんと速いこと。

東北地方の1日も早い復旧復興を願いつつ、町民の皆様にとって本年もまたよい年でありませうに祈ってペンを置きます。

土川重佳